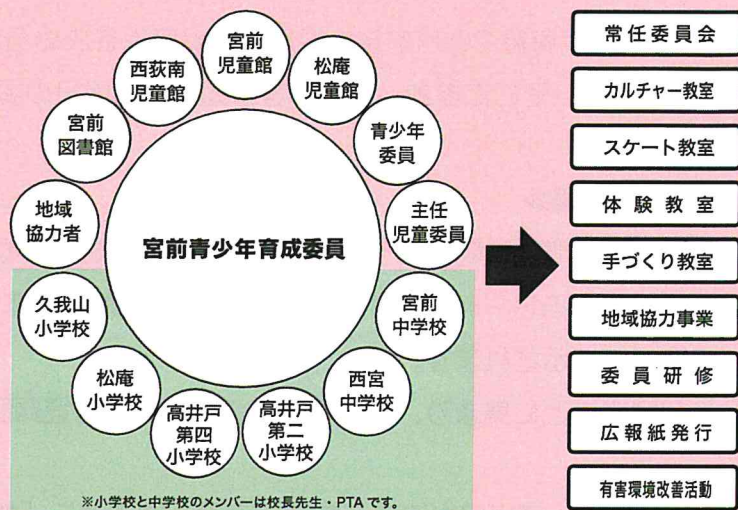


*青少年育成委員会とは・・・

杉並区に17カ所の育成委員会があり、地域社会に根ざした自主的団体として、青少年の健全育成のために活動しています。文化的・スポーツ的な行事の実施や、有害な社会環境浄化のための非行防止や啓発活動、青少年問題に関する地域的な広報誌の発行、地域の各種団体の連絡調整等を行う委員会です。



【宮前青少年育成委員会 組織図と主な活動】



※小学校と中学校のメンバーは校長先生・PTAです。

地域協力事業

当委員会が協力金をお渡ししたり、お手伝いスタッフを出したりしている事業のことです

- 高井戸第二小学校PTA
「高二小に泊まるう会」
- 高井戸第四小学校PTA
「水あそびイベント
TAKASHI WATER FESTIVAL」※中止
- 松庵小学校PTA
「松庵親子夏まつり」
- 久我山小学校PTA
「学校で遊ぼう会」
- 宮前中学校PTA
「宮前スマイル広場2024」
- 西宮中学校PTA
「西宮冒険記（アドベンチャー）2024」
- 宮前児童館
「みやまえ秋のチャレンジフェスタ」
- 西荻南児童館
「西荻南防災子どもまつり」
- 松庵児童館
「ためぼんランド」



みやまえ秋のチャレンジフェスタ

宮前青少年育成委員会 会長 多々納 誠子

本年度は、お馴染みの手づくり教室、体験教室、スケート教室に加え、新たにカルチャー教室として、楽団を招いての参加型の音楽会を企画開催しました。有害環境を取り除く委員活動では、講演会やごみ拾いパトロールも行いました。

それぞれの事業に、近隣の児童生徒が参加してくれましたが、同じ地域に住んでいる他校の子ども同士がすぐに打ち解けて仲良くなったり、「久しぶり！去年もスケートで会ったよね。元気だった？」と、他校の友達との再会を楽しむ場面も見られました。宮前青少年育成委員会の伝統である子供たちを地域で笑顔にする活動ができたと感じています。これからも地域の繋がりを大切に、子供たちを笑顔にするイベントを企画したいと思います。



島田副会長 多々納会長 富山副会長

育成委員会だより みやまえ みんなの笑顔を地域に！

第26号

令和7年3月

宮前青少年育成委員会
発行責任者 多々納 誠子



「みんなの笑顔を地域に！」 を支える一員として

杉並区立宮前中学校 校長 仙浪 辰郎



今年度、宮前中学校校長に着任しました仙浪辰郎です。杉並区での勤務は初めてであり、また校長職としても初めてですので、不安な状態で4月を迎えました。しかし、この地に全く縁がないわけではなく、妻の実家が宮前にあり、息子の学校も近くにあったため、サッカー部の応援や文化祭など、すぐ近くまではよく来ていました。着任して約1年が経ち、改めてこの地域の良さを認識し、杉並区に勤務できたことを本当に嬉しく思っています。

宮前青少年育成委員会に所属する多くの団体のみなさまのおかげで、地域活動が継続、発展し、子どもたちの笑顔と成長が見守られていることに感謝申し上げます。本校も育成委員会の一員として、地域のためにさらに貢献して参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

学校は「心の故郷」

杉並区立久我山小学校 校長 守田 聡美



人々にとって学校は「心の故郷」です。心の故郷は目で見えることはできません。心の中で人と人との繋がりを感じるからだからです。昔の人と今を生きる自分との繋がりを、友達と、家族と、このまちの人々と、学校に集う全ての人々との繋がりを感じるからだからです。心の故郷は目に見えないので奪われることも壊されることもあります。しかし、人々の心の中から繋がりが消えた時、跡形もなく消えてしまいます。学校は人々の心の繋がりの中に生かされています。

青少年育成委員会の方々、人々の心の中に繋がりを育み、学校を、子ども達を育ててこられた方々です。教育は、学校だけでは完結しません。これからも、青少年育成委員会の皆様と共に、心の故郷を未来に繋いでいきたいと思っています。

手づくり教室

- 実施日：令和6年8月3日（土）
- 場 所：高井戸第二小学校
- 参加者：小学生63名 委員24名
- 指導者：堀江和真さん（アーティスト）
財団法人カルチュラルライツ2名

13cm角の板にカラフルなボタンやガラスタイル、プラスチックの廃材、モールやリボンなどを貼り付けたアート作品を作りました。はじめに用意した材料から使いたいパーツを選び、貼り付け方のコツなどを教えてもらったあと作品作りが始まり

ました。同系色でそろえたり、素材や色の違うパーツを混ぜたり、家から持ってきた材料も加えて出来上がった作品は、



まるで1枚の絵画のようでした。家で飾れるようにと付けた紐や針金がアクセントになって、さらに作品を引き立てていました。

体験教室

- 実施日：令和6年10月14日（月・祝）
- 場 所：加須未来館（プラネタリウム）
「カルピス」みらいのミュージアム
- 参加者：小学生37名 委員15名

さわやかな秋晴れの下、体験教室が開催されました。加須未来館では単眼式超解像度8Kデジタルプラネタリウムでドームに広がる星空を鑑賞した後、展示物とコスモス畑を楽しみました。昼食は館外で心地よい風を感じながらお弁当を食べました。「カルピス」みらいのミュージアムでは、最新

鋭の機械がボトリング、ラベリング、箱詰めの作業等を行う様子を見学できます。乳酸菌と酵母の集合体のカルピス菌により、新鮮な生乳をゆっくり発酵させてできることも学びました。自然に触れたり、学習したり、充実した秋の一日を満喫できました。



スケート教室

- 実施日：令和6年11月24日（日）
- 場 所：明治神宮外苑アイススケート場
- 参加者：小学生100名 中学生8名 委員33名
- 指導者：杉並区スケート連盟指導員 11名

朝早くから、今年もスケート連盟の皆さまが笑顔で迎えてくれました。今回は参加した子どもたちの声を紹介します。

スケート靴へ履き替える所では「硬い、キツイ！」「立てない！」「グラグラする！」など四苦八苦。習熟度に応じたレッスンが始まると「寒い！」「転びそう！」「ツルツルする！」と怖さや不安がこちらにも

伝わってきます。皆終わる頃には疲れた様子でしたが「もっとやりたい！」「また絶対に来る！」「友達ができた！」「楽しかった！」と上気した顔で話してくれました。中学生はレッスン以外にも引率の補助や、小学生との交流など大活躍でした。沢山の方のご協力で無事に終えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。



カルチャー教室 New!

- 実施日：令和6年12月15日（日）
- 場 所：高井戸第二小学校
- 参加者：小学生55名 中学生2名 大人30名 委員27名
- 出 演：パーカッショングループ フラワービート

開演とともにフラワービートさんの奏でるリズムと掛け合いに歓声が湧き上がり、場内がひとつになりました。ピアノ、カスタネット、トライアングルなど馴染みのある楽器も、いつもと違う演奏方法に子どもたちはびっくりしたり、わくわくしたり。また身近な台所用品からも工夫とスーパ

ーテクニックで楽しい音楽が生まれ、子どもたちも興味津々。そして1台のマリンバを息の合った5人で演奏した「道化師のギャロップ」は、圧巻でした。最後にカスタネットや鈴が配られ、参加者全員でクリスマスソングを演奏し思い出に残るコンサートとなりました。生でこそ感じる一体感、あっと言う間の心温まる夢のような1時間でした。



有害環境改善活動

- 実施日：令和6年10月21日（月）
- 場 所：高井戸第二小学校
- 参加者：委員20名
- 講 師：「みんなのグリーフケア」代表理事 森田藍子氏

「グリーフケアは心の防災」
講演では、深い悲しみから希望を見出し次の扉を開けるまでの「悲しみの5段階」というプロセスを教えていただき、その当事者が今どの段階なのかをまず知ったうえで、寄り添うことの重要性を学びました。

ワークショップでは具体的な事例について声掛けの方法を出し合い、相手との距離感によって変えるなどケースバイケースの対応が不可欠と感じました。そして実際に直面した時に、今回の学びを少しでも活かすことができればと思いました。講演会後は、高ニ小近辺のパトロールとゴミ拾い。煙草の吸殻だけでなく、植込みに空き缶や菓子の袋が捨てられており、改めてこの活動の必要性を感じました。

※グリーフケアとは、
どうしようもない悲しみに愛と尊敬をもって寄り添うこと。



委員研修

- 実施日：令和6年6月10日（日）
- 場 所：宇宙航空研究開発機構（JAXA）筑波宇宙センター（有）筑波ハム工場
- 参加者：委員17名

事業の实地踏査も兼ねた研修でした。最初の訪問先、JAXA筑波宇宙センターでは、日本初の有人宇宙施設「きぼう」の運用管制室を見学しました。データの監視・解析、国際宇宙ステーション内機器のリモート操作、宇宙飛行士との交信の様子を見る貴重な機会となりました。次に訪れた筑波ハムでは、地元産の豚肉からハム

やベーコンが手作りされる様子を見学しました。桜の薪が薫製室で薫り、工房の外も良い香りです。宇宙科学の最先端に触れ、身近な食材が丁寧に作られる工程を知りました。委員の親睦も深まり充実した研修でした。

